

【大漢和番号】 8668

【字音】 ウツ ウチ

【字義】 山の煙ったさま。

【出典】 字彙 【Unicode】 21FE5

ささひろ・ポイント

「鬱」は、金代「三五
「三四」に編纂され
た字典『篇海』が、
字書『玉篇』(当時
伝わっていた四川
版)を引用して「山

じ韻をもつ漢字を二字重ねるこ
と)の熟語を山偏やまへんでそろえ、字
体を同化させたものの片割れだ
ったのです(楊宝忠『疑難字三
考』中華書局、三〇八／張涌泉『漢
語俗字叢考』中華書局、三〇〇修
訂本参照)。

この字の旁つくりの「鬱」を俗字体
の「鬱」と略すこともありまし
たが、「鬱」としてしまうと籠
もった感じがいくらか薄れて見
えませんか。

煙貌」と説明した漢字で、以降
多くの辞書に掲載されてきまし
た。すでに梁代「五二一五」に
は昭明太子「五二一五」が作品
で「鬱・峴」と使っていた例が見
られます。「鬱」は「鬱・峴」(山
気暗昧の状態)という畳韻(同

〔手〕部

榘木
擻

榘木
擻

榘木
擻

【大漢和番号】 13060

【字音】 ウツ ウチ

【字義】 ねじる。あるいは腕と書く。

【出典】 集韻 【Unicode】 22EB4

ワンポイント

紙を折り畳む意で、吳方言（中国語の五大方言の一つで中心地は上海や蘇州）など、各地の方言に見られる字です。上海方言でも使われました（『歴代方言文獻集成』）。

【大漢和番号】 14328

【字音】 コウ

【字義】 曼矜【大 47985 まなびや〔学
び舎〕】に同じ。

【出典】 字彙補 【Unicode】 2A3EC

林林
林林林林
林林林林
林林

【大漢和番号】 15989

【字音】 サツ・キ

【字義】 義未詳。

【出典】 五音篇海 【Unicode】 2387D

すさひろ・ポイント

『漢語大字典』はこの字について、字典『類篇』(『篇海』が引用するもので、現在見られる『類篇』とは別)を典拠とし、

「𣏟」といった珍しい漢字が使われているので、何かこの種の賦(韻文)が他にも存在していたことがうかがえます。

字音を「殺・其二音」、出典を『西江賦』としています。清代『六六二五三』初期の字典『統』字彙補では字義について「義闕」(意味はわからない)としています。

かつて「𣏟」は「冊」(冊)の異体字だとする意見がありました。字音がサツ・キではなくサク・キなど唐代の字音だとすれば違ってはいますが、可能性はあります。反切や直音といった、漢字の音を他の字で表した例は、後代の地方の字書に載ることがあるためです。直音の「其(キ)」からは「箕」も想起されますが、古代文字の字形は似ていません。

音読みや字義は似た字からの類推に過ぎないものもあり、「竹」を四つ重ねた「𣏟」も字音が「殺」とされているので、関連がありそうです。

なお「𣏟」のように同じパーツを八つも重ねるパターンは漢字は珍しいですが、「木」は「林」「森」のように重ねやすかったようで、四つ、五つ、六つ、八つのほか「𣏟」という九疊字まであり(116頁)、漢字検索・印字ソフト「今昔文字鏡」は「𣏟」もパーツとして採用しました。

出典の『西江賦』は現存しないようですが、「亳州老君碑」と称する石碑が各地の道観(道教寺院)などに実在しており、そこに「西江月」という題を掲げるものが見られます。石碑には「𣏟」「𣏟」はないものの、「𣏟」「𣏟」「𣏟」「𣏟」「𣏟」

果果

【大漢和番号】 15990

【字音】 コ

【字義】 義未詳。

【出典】 字彙補 【Unicode】 2387E

すさひろ・ポイント

「麩」には熟語があつたようですが残っていません。

さて、一部の本、ネットやテレビなどでは「龍」を九つ書いた「字」や、一〇八画で煩惱を意味するという「字」が紹介されていますが、いずれも近年に生み出されたものです。前者は誤伝のようで、後者もある個人がWEB上で作り出して紹介したものです。

これらの字も今後辞書に載る可能性がありますが、今のところ文中で使われたことがないようです。文字として認められるかどうかは微妙です。仮に文字だとされても、誤字や個人文

字、遊戯文字、創作文字の範疇を出ていない段階にあります。

以前、漢字ミュージアム（京都府）に開館以来寄せられた創作漢字を六千種ほど分析したときには、数百画をもつ「字」が見つかりました。こうしたものは、江戸期の戯作者による「嘘字」や、宋代「空〇三瓦」以降の中国における神智体の流れに捉えることもできます。神智体とは宋代に蘇軾（一〇三六―一一〇一）が初めて書いたとされる詩のジャンルで、漢字を分解したり字形の大小を変えたり字形を斜めに書いたり、漢字に種々の細工を加えた遊戯性の高い謎々のような詩です。

果果
果果

果果
果果

果果
果果

果果
果果

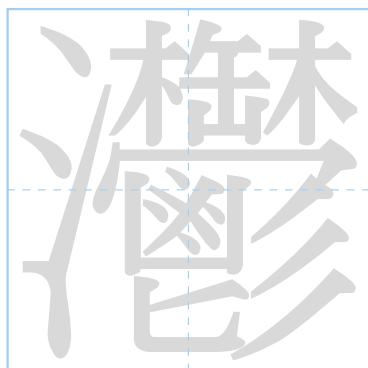
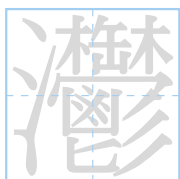
果果
果果

果果
果果

果果
果果

果果
果果

果果
果果



【大漢和番号】 18847

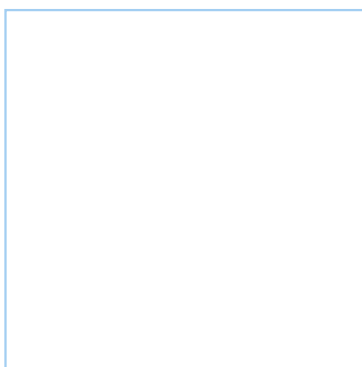
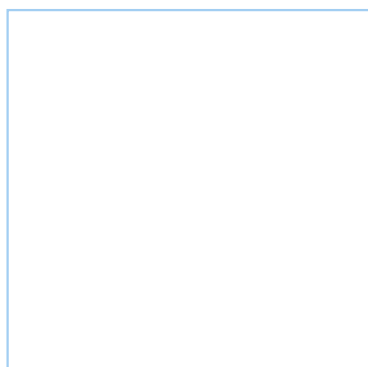
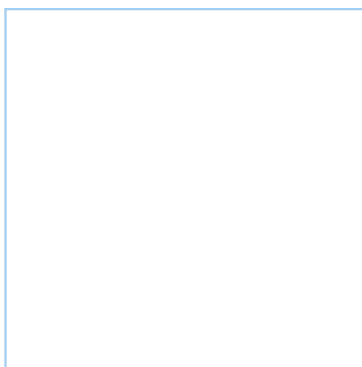
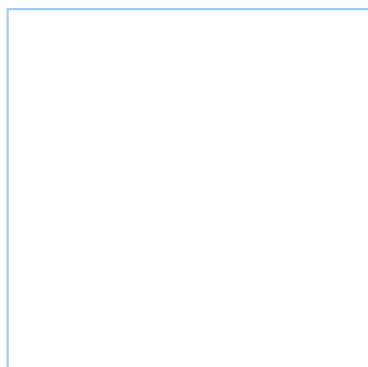
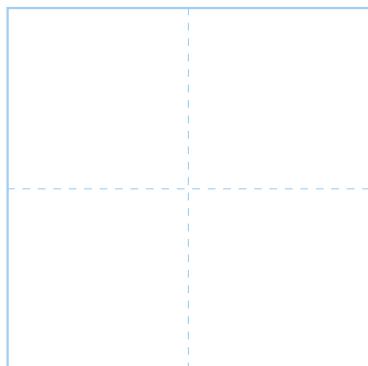
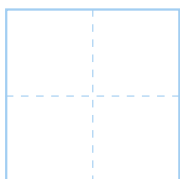
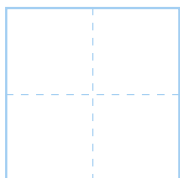
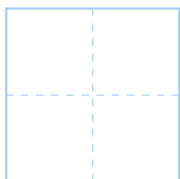
【字音】 ウツ ウチ

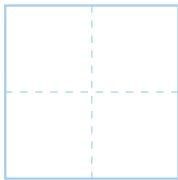
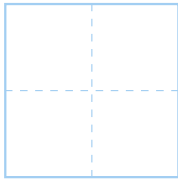
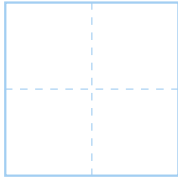
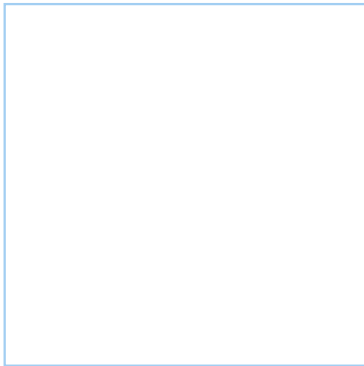
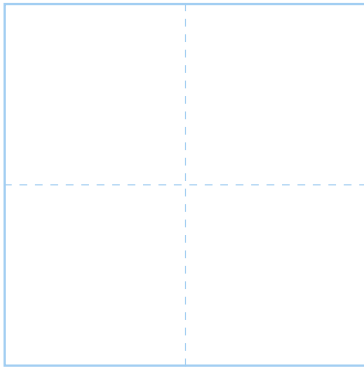
【字義】 ①澁滂 [ウツ/ウチ] は、大水のさま。

②澁磈 [ウチ] は、高峻のさま。

【出典】 ①集韻 ②木華，海賦

【Unicode】 706A



【大漢和番号】 19650

【字音】 スイ

【字義】 燧ずい 【大 19469 ①ひとり。②たいまつの火。③火をとる。また、やく【焼く】。(略)の本字。

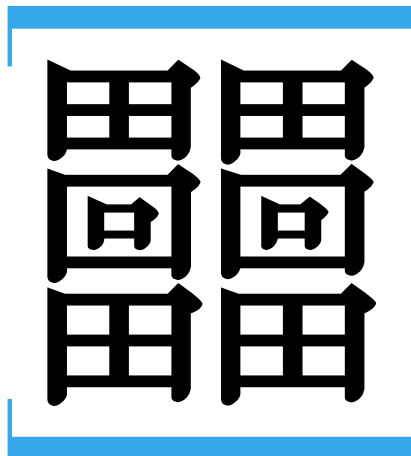
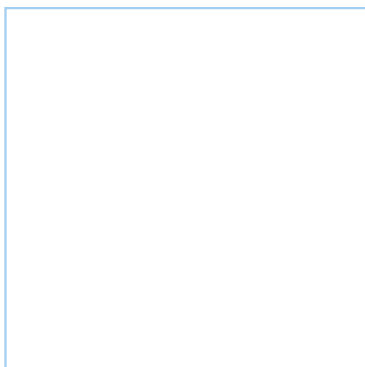
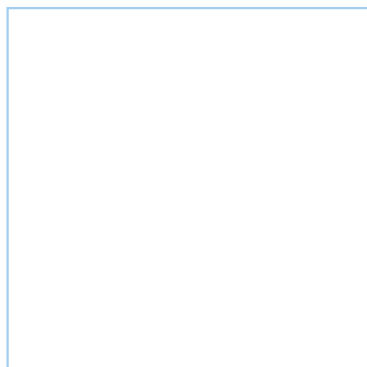
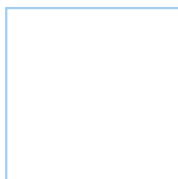
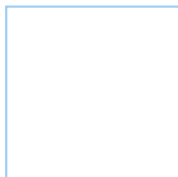
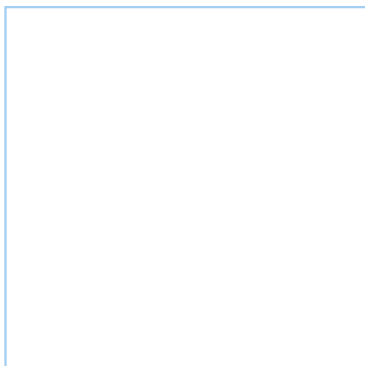
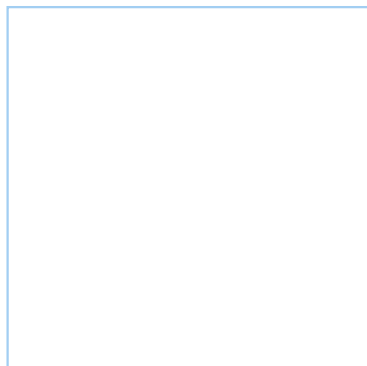
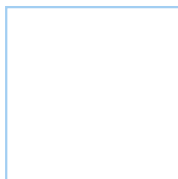
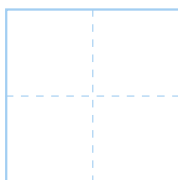
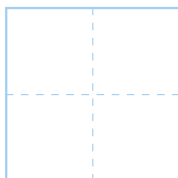
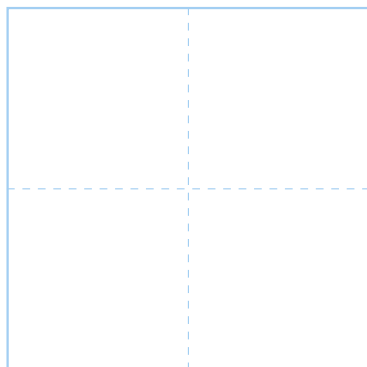
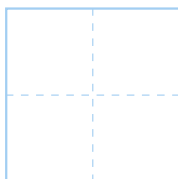
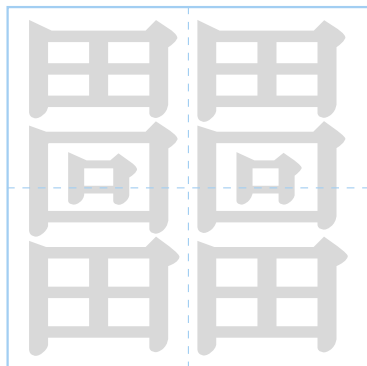
【出典】 中華大字典

【Unicode】 28F75

ワンポイント
ません。

手書きをする時、「し」は「し」と書いてもかまいません。

田部

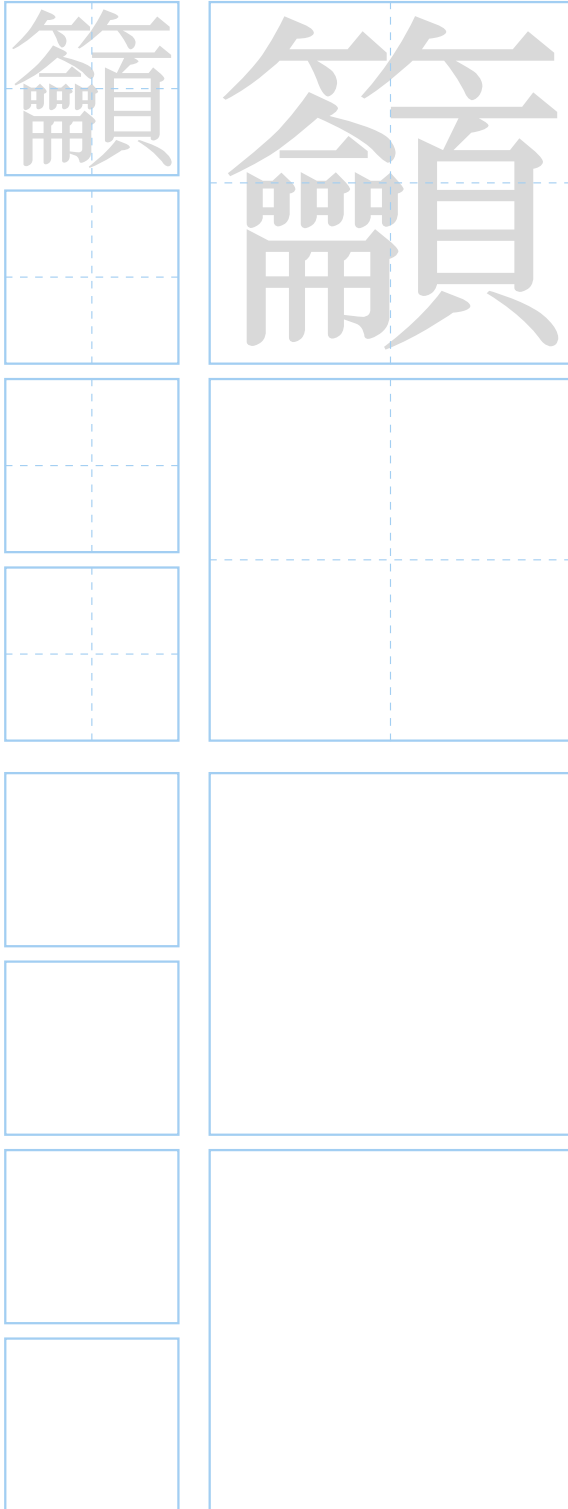


【大漢和番号】 21992

【字音】 ライ

【字義】 雷ライ【大 42518 ①①いかづち[雷]。②なげくこえ。③亀の属。④姓。②①かめの名。】の古字。

【出典】 集韻 【Unicode】 24D10



籲

【大漢和番号】26831

【字音】①ユ ②ヤク

【字義】①②①よぶ。さげぶ。②やわらげる。

【出典】①説文／書，泰誓中／傳 ②小爾雅，廣言／傳 【Unicode】7C72

熟語

【籲號】ゴウ 呼び叫ぶ。【籲懇】コン 歎願する。懇願する。

【籲俊】シュン 賢者を招く。【籲請】セイ 請い願う。

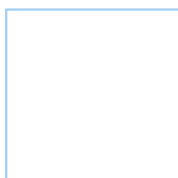
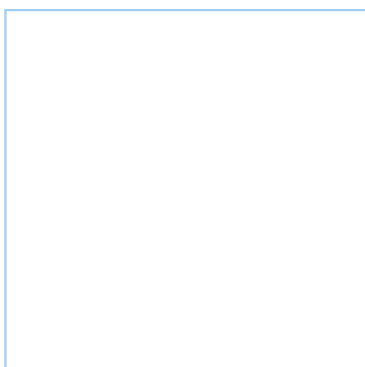
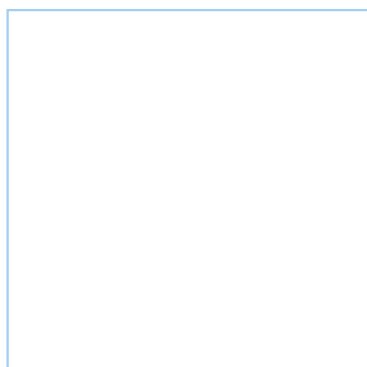
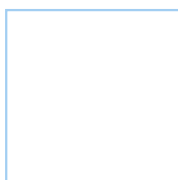
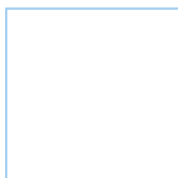
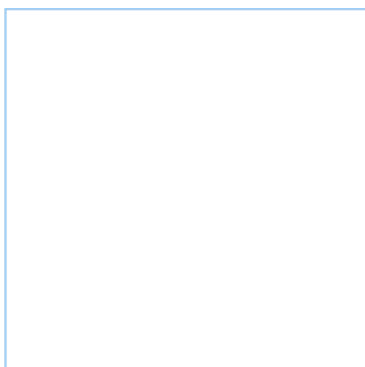
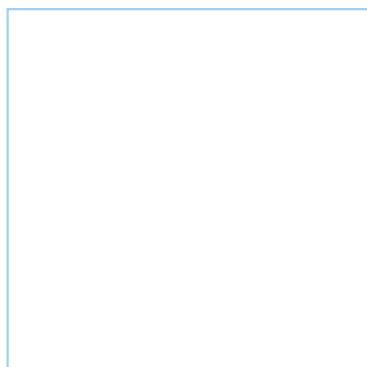
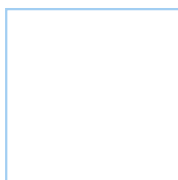
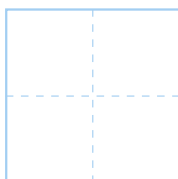
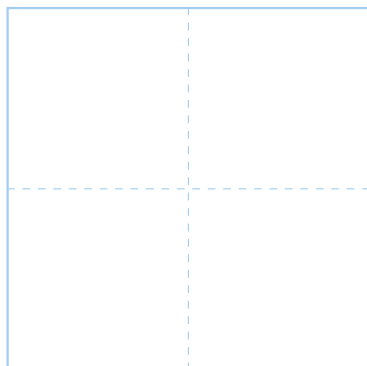
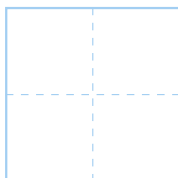
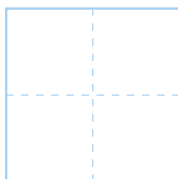
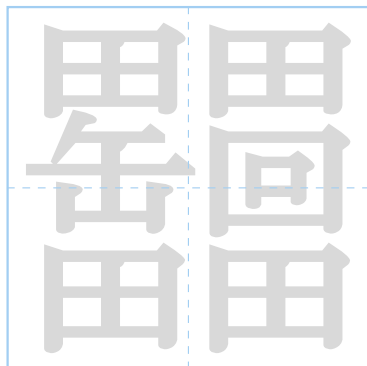
【籲天】テン 天によびさげぶ。天に祈り訴える。

【籲門】モン 清、駱秉章「シヨウヘイ」の字。あきな

ワンポイント

台湾や香港などで、多数の人に何かをして欲しいと知らせる場合に「呼籲・乘客們請勿強行進入車廂」（駆け込み乗車はおやめください）のように使われています。新聞やニュースで見ることが多い字で、簡体字は「吁」、字音はyū。

〔缶〕部



【大漢和番号】 28198

【字音】 ライ

【字義】 疊タラ【大 28187 ①さかだる。②たらい。】の古字。

【出典】 集韻 【Unicode】 26269